

第 33 回加古川市民レガッタ 大会ガイド



ウェルネス都市加古川シンボルキャラクター
「ウェルビー」

大会日程・・・・・・・・・・・・・・・・	1
競技レース表・・・・・・・・・・・・・	2
大会注意事項・・・・・・・・・・・・・	3～5
加古川市民レガッタ競漕規則・・・・・・・・	6～7
大会会場図・・・・・・・・・・・・・・・・	8
ボートのこと・・・・・・・・・・・・・	9

主催 加古川市レガッタ事業実行委員会

共催 加古川市

第33回加古川市民レガッタ大会

大会日程

9月13日（日）

開 場 (駐車場オープン時刻)	6 時 3 0 分
--------------------	-----------

競 技	8 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分
-----	-----------------------

納艇及び水路撤収	競技終了後～
----------	--------

表彰式	最終レース終了約40分後開始 本部テント前にて表彰式 ※ 初級、ジュニアは別途
-----	---

○成績発表及び表彰式（1位から3位 ※初級は1位のみ）

- (1) 初級（レース終了後）
- (2) ジュニア（2回目レース終了後）
- (3) レディース
- (4) シニア
- (5) 上級
- (6) 男女ミックス
- (7) チャンピオン
- (8) ベストユニフォーム賞

閉 場 (駐車場クローズ時刻)	1 8 時 0 0 分
--------------------	-------------

第33回加古川市民レガッタ レース表

2026年9月13日

No.	集合時刻	スタート時刻	種目	区分	1レーン	2レーン	3レーン	4レーン	5レーン	勝上 がり	チ-ム 数
1	08:00	08:30	エンジョイ上級	予選 1組	多木清艇部	チームOKRK	三菱高砂A	明石浪会人Y	-	1	/ 4
2	08:10	08:40	エンジョイ上級	予選 2組	清ぎJET	清ぎ屋	パンツマン	明石浪会人A	-	1	/ 4
3	08:20	08:50	エンジョイ初級	決勝 1組	ボジフィコ	がんばる君	4444	HER	-	-	/ 4
4	08:30	09:00	エンジョイ上級	予選 3組	ナイスダディ1995	BR清好会 バオバオ1班	チンピラ西遊記	NTS清艇部	-	1	/ 4
5	08:40	09:10	エンジョイ初級	決勝 2組	NO PROBLEM	清ぐち将軍	権祝湖防衛会	S8C	爆音連合	-	/ 5
6	08:50	09:20	エンジョイ上級	予選 4組	THE 八朗会	関西熱化学ボート部 Orange Wing	加古川市議会 清流	腹切り想定部	-	1	/ 4
7	09:00	09:30	エンジョイ初級	決勝 3組	姫路河川国道事務所1	TEAM OKR B	志方の大砲	Dainichi SPEED	-	-	/ 4
8	09:10	09:40	エンジョイ上級	予選 5組	チームFIRE	ちよい清ぎアミーゴ	with YOU 海鹿	TEAM張り切って腹切り	加古川市議会 ウエルネス	1	/ 5
9	09:20	09:50	シニア	予選 1組	権明会	姫前清艇クラブ関西支部A	上荘スポーツクラブ	橋清会	-	2	/ 4
10	09:30	10:00	シニア	予選 2組	ラスト46秒の逆転ファイター	チームザキ	クレイジー	土地改良こがん会	-	2	/ 4
11	09:40	10:10	シニア	予選 3組	Alum Squad	RC神戸	阪神愛清会	御殿浜RCかなりな初老にて	-	2	/ 4
12	09:50	10:20	レディース/ ジュニア	予選/1回目 1組/1組	あん・がとう	RC神戸 クイーンズ加古川の女子	MSH26	御殿浜RC黄身は天然色	sakura (ジュニア)	2	/ 5
13	10:00	10:30	レディース	予選 2組	コージーズ	むささび	上荘ボートクラブ	ごきたガーリー	くろがね〜ぜ	2	/ 5
14	10:10	10:40	男女ミックス	1回目 1組	チームgogotea	RC神戸 HANABI	コバルトブルー	チームOKRKmix	御殿浜RC幸せな血圧	-	/ 5
15	10:20	10:50	エンジョイ上級	敗復 1組	8レースの5位	8レースの2位	1レースの2位	6レースの3位	-	1	/ 4
16	10:30	11:00	エンジョイ上級	敗復 2組	4レースの4位	1レースの3位	2レースの2位	8レースの3位	-	1	/ 4
17	10:40	11:10	エンジョイ初級	決勝 4組	姫路河川国道事務所2	ケツカッチン	マナベ組	Dainichi POWER	ビギナーズラック	-	/ 5
18	10:50	11:20	エンジョイ上級	敗復 3組	6レースの4位	2レースの3位	4レースの2位	1レースの4位	-	1	/ 4
19	11:00	11:30	エンジョイ初級	決勝 5組	姫路河川国道事務所3	尼崎ブレイジング工業	ドーピング・オスモ	TEAM OKR A	-	-	/ 4
20	11:10	11:40	エンジョイ上級	敗復 4組	8レースの4位	4レースの3位	6レースの2位	2レースの4位	-	1	/ 4
21	11:20	11:50	チャンピオン	1回目 1組	チーム河合	沈まなければ優勝	ハイテンズ	姫前清艇クラブ関西支部B	-	-	/ 4
22	11:30	12:00	シニア	敗復 1組	10レースの4位	9レースの3位	11レースの3位	-	-	2	/ 3
23	11:40	12:10	シニア/ ジュニア	敗復/2回目 2組/1組	9レースの4位	10レースの3位	11レースの4位	-	sakura (ジュニア)	2	/ 4
			休 憩								
24	12:30	13:00	レディース	敗復 1組	13レースの4位	13レースの3位	12レースの3位	12レースの4位	13レースの5位	1	/ 5
25	12:40	13:10	エンジョイ上級	準決勝 1組	18レースの1位	4レースの1位	1レースの1位	8レースの1位	16レースの1位	2	/ 5
26	12:50	13:20	エンジョイ上級	準決勝 2組	20レースの1位	15レースの1位	2レースの1位	6レースの1位	敗復タイム-1位	2	/ 5
27	13:00	13:30	シニア	準決勝 1組	23レースの1位	11レースの1位	9レースの1位	9レースの2位	22レースの2位	2	/ 5
28	13:10	13:40	シニア	準決勝 2組	22レースの1位	10レースの2位	10レースの1位	11レースの2位	23レースの2位	2	/ 5
29	13:20	13:50	エンジョイ初級		-	-	-	-	-		
			休 憩								
30	14:20	14:50	エンジョイ上級	決勝 1組	25レースの2位	26レースの1位	25レースの1位	26レースの2位	準決勝タイム-1位	-	/ 5
31	14:30	15:00	レディース	決勝 1組	24レースの1位	13レースの1位	12レースの1位	12レースの2位	13レースの2位	-	/ 5
32	14:40	15:10	シニア	決勝 1組	28レースの2位	27レースの1位	28レースの1位	27レースの2位	準決勝タイム-1位	-	/ 5
33	14:50	15:20	男女ミックス	2回目 1組	1回目タイム-4位	1回目タイム-2位	1回目タイム-1位	1回目タイム-3位	1回目タイム-5位	-	/ 5
34	15:00	15:30	チャンピオン	2回目 1組	1回目タイム-3位	1回目タイム-1位	1回目タイム-2位	1回目タイム-4位	-	-	/ 4

上級	□予選1着、敗者復活1着→準決勝 □準決勝1着・2着と、3着の最上位→決勝
レディース	□予選1着・2着と、敗者復活1着→決勝
シニア	□予選1着・2着と、敗者復活1着・2着→準決勝 □準決勝1着・2着と、3着の最上位→決勝
男女ミックス	□タイムレース(2回のタイム合算) ※同タイムの場合はベストタイムを上位とする
チャンピオン	□タイムレース(2回のタイム合算) ※同タイムの場合はベストタイムを上位とする
ジュニア	□タイムレース(2回のタイム合算) ※同タイムの場合はベストタイムを上位とする
初級	□1回レース

第33回 加古川市民レガッタ大会 注意事項

1. 大会受付

- ① スタート時刻の60分前までに代表者1名以上で大会本部で受付を済ませてください。
- ② 誓約書を必ず提出してください。
- ③ 受付後会場内では漕艇センター利用規則、本大会要綱を守ると共に、大会スタッフの指示に従ってください。
- ④ 棄権クルーは速やかに漕艇センター(Tel.079-428-2277)まで連絡してください。
連絡無しに棄権したクルーは来年度の受付をお断りする場合があります。
- ⑤ 選手変更がある場合はスタート時刻の30分前までに大会本部へ申し出てください。
- ⑥ 「競漕経験」がある選手の変更については、変更届を大会本部へ提出してください。

※競漕経験者とは、「本年度日本ローイング協会登録」or「日本ローイング協会主催大会での出漕経験」を意味します

2. 配艇受付

- ① スタート時刻の30分前までに出場選手5名全員で配艇受付テントにて受付を済ませゼッケンを受け取ってください。(ゼッケンはレース終了後、配艇受付テントまで返却してください) なお、飲酒状態では受け付けできません。
- ② 受付後は待機テントで待ち、配艇委員からのレースNo、レーンNo、艇No、の案内指示に従い乗艇してください。
- ③ 5名全員が揃わない時は棄権とみなします。
- ④ スタート10分前までに乗艇できなければ、棄権とみなします。

3. 乗艇

- ① 船台は使用しません。
- ② 乗艇の際は、ご自身のシューズをご使用いただき、艇内に泥砂を持ち込まないようにご注意ください。
- ③ 艇底の青色塗装部分は絶対に踏まないでください。
- ④ ストレッチャーの位置調整及びネジ締めは必ず手で行ってください。※蹴らないでください。
- ⑤ リガーを持ったりしないでください。(負荷をかけないでください。)
- ⑥ オールのブレードはデリケートなのでぶついたりしないでください。
- ⑦ 離岸時はスタッフに申告ください。スタッフが手でオール又は艇を押出す等の離岸補助をすることがあります。

4. 航行

- ① 安全第一で、他艇、護岸及びロープに注意し右側を通行してください。
- ② レース中以外は、コースの中に入らないでください。
- ③ スタートに向かう際、レース艇が来たら速やかに艇を止めてください。
- ④ コースには回漕レーンとの分離帯があります。ブイ、ロープの位置、色等と共に確認してください。
- ⑤ コースの水域から遠くには行かないでください。JR鉄橋下流及び配艇場上流側は侵入禁止です。

5.競漕

- ① 競漕は日本ローイング協会の規則に準じ、一部ローカルルール適用で行います。
- ② スタートはステッキボートではなく「スタートゲート」を利用します。ボートホルダーはいません。
- ③ 発艇号令は「アテンション、ゴー」で行います。なお、クイックスタートで発艇する場合の発艇号令は「オールクルーズ、アテンション、ゴー」で発艇します。
- ④ スタートから300m先のフィニッシュラインを越えるとブザーが鳴ります。全クルーが正常にフィニッシュインすると主審艇から白旗が上りレース成立で順位が確定します。
- ⑤ インストラクター乗艇クルーではインストラクターはクルーの一員と見なしますのでお互いに意思疎通を図ってください。
- ⑥ レース中、主審が「止まれ」と警告した場合には、速やかに停船してください。
- ⑦ 係員が、コックスの操舵技能が未熟で、レース上危険だと判断した場合、インストラクターを乗せる場合があります。（その場合は、合計6人の乗艇となります。）

6. レース終了後

- ① レース終了後はスタッフの指示に従って、速やかに着岸してください。
- ② スマホでレース結果や次レースを確認できるようにします。
※事前に QR コード（漕艇センターのホームページ）を読み取ってください。QR コードは大会冊子と会場に掲示
- ③ 次レースのあるクルーが次レースを棄権する時は、遅くともスタート時刻の30分前までに大会本部に報告してください。

7.その他注意事項

- ① ゴミは、各自で持ち帰ってください。
- ② 路上駐車は厳禁ですので、決められた駐車場に駐車してください（アイドリングストップ）。なお、キャンピングカーの乗入れはできません。
- ④ 納艇やコース撤収などの片付けのご協力をお願いします。
- ⑤ テント等の場所確保は9月12日（土）午後5時～午後8時までとなっております。
※午後8時になりますと入口を施錠します。
- ⑤ 川、水路に近寄らないよう注意してください。特に子供については、保護者が責任をもって対応してください。
- ⑥ 河川敷内は直火禁止となっております。また、火気等の使用時には、水を入れたバケツを常備する等の防火対策を行うと共に、周囲に十分配慮してください。また、使用後の後片付けを必ずお願いします。（火気等を使用後は、完全に消火を確認してください。）
- ⑦ 駐車場には限りがありますので、会場にはできるだけ乗り合わせて来てください。

加古川市民レガッタ競漕規則

【総則】

第1条 競漕の使用艇はナックルフォアとし距離は300mとします。

第2条 コースは直線とし、レーンは、本部テント側から起算します。

【審判とその役割】

第3条 審判長は、競漕に関する指揮・判断・決裁の責任者としての審判員全員を統轄します。

第4条 線審はスタート地点において、各艇の艇首をスタートライン（発艇線）上に揃え、正確であると判断したとき、線審旗（白地に赤の×）を掲げて発艇に知らせます。

第5条 主審・発艇は、審判艇上で下記を行います。

- ① スタート（発艇）
- ② 競漕の監視

第6条 判定員は、フィニッシュ（判定）地点において、競漕艇の着順判定を行います。

【レースのスタート】

第7条 出漕クルーは、発艇定刻2分前までに所定のスタート位置（スタートゲート内）につかなければなりません。

本項に違反したクルーには警告を与え、不正スタート1回で除外とする。

回漕中の艇の故障等により遅延するクルーは、あらかじめその理由を最寄りの審判に申し述べ、審判長の許可を得なければなりません。

第8条 発艇位置に着くことを遅延したクルーがあった場合、発艇はそのクルーを待たずにレースをスタート（発艇）することができます。

この場合、そのクルーは失格となります。

第9条 各クルーは、発艇による発艇号令とともに発艇を行います。

- ① スタート2分前の発声の後、クルーはいつでもスタートできる状況にしておいてください。
- ② ロールコール

各艇が発艇準備を完了したことを確認してから、レーン順にクルー名を呼んでいきます。

なお、レース進行上の必要性から、発艇が「クイックスタート」の実施を宣告した場合、ロールコールは行われません。

③ 発艇号令

「アテンション」の予令の後、明瞭な間において発艇旗（赤字に白の×）を掲げ、さらに明瞭な間において、「ゴー」の発艇号令を発すると同時に発艇旗を振り下ろします。

なお、クイックスタートで発艇する場合の号令は「オールクルーズ」「アテンション」「ゴー」です。

第10条 線審は不正スタートを認めた場合は、競漕を中止するため、直ちに赤旗を振って主審・発艇に知らせます。同一競漕で2度の不正スタートを行ったクルーは、その競漕から除外とします。

【レース中】

第11条 競漕中、各艇は自己のレーンを進行しなければなりません。他のレーンを接触または他艇を妨害してはなりません。「接触」とは、競漕中に他艇との間でオール、艇体が触れ合うことをいいます。「妨害」とは、競漕中他のレーンに侵入し、他艇の進路を妨げることをいいます。

第12条 主審は、下記の場合、白旗を揚げ、警告を発します。

1. 他艇を妨害する危険がある場合
2. 他艇との接触を起こす危険がある場合
3. クルーの安全と艇と装備を損傷から守るため必要な場合

※ 3の時、主審は白旗を上げてクルーの注意を喚起し、操舵指示または「止まれ」の号令を掛けて、そのクルーを止めてもよい。

第13条 接触あるいは妨害のとき、主審は次のいずれかの処置を行います。主審の指示にしたがってください。

1. 競漕の結果にまったく影響を及ぼさないごく軽微なもの、と判断した場合は不問にします。
2. 競漕を続行させて、その着順に従って順位を決めます。ただし、接触の原因を引き起こしたクルー

一、他艇を妨害したクルーは競漕から除外とします。

3. 接触の原因を引き起こしたクルー、他艇を妨害したクルーを除外として、他のクルーに再競漕を行います。

第14条 競漕中における障害、または艇の故障等の災厄は、他の艇により接触されて起こった場合のほか、各クルーは自ら忍ぶべきものとします。

※ 腹切りやシート外し等は本条の故障にはあたりません。

第15条 いかなるクルーも定員を欠いて競漕に参加することはできません。

【レースの終了】

第16条 主審は、競漕に参加した全艇が決勝線（フィニッシュライン）を通過したのち、以下の動作により競漕の結果を判定員に知らせます。主審は、その競漕が正常に行われたと認めたときは白旗を掲げます。主審は、競漕中に問題があり、その競漕が正常に行われなかったと認めたときは、赤旗を掲げます。

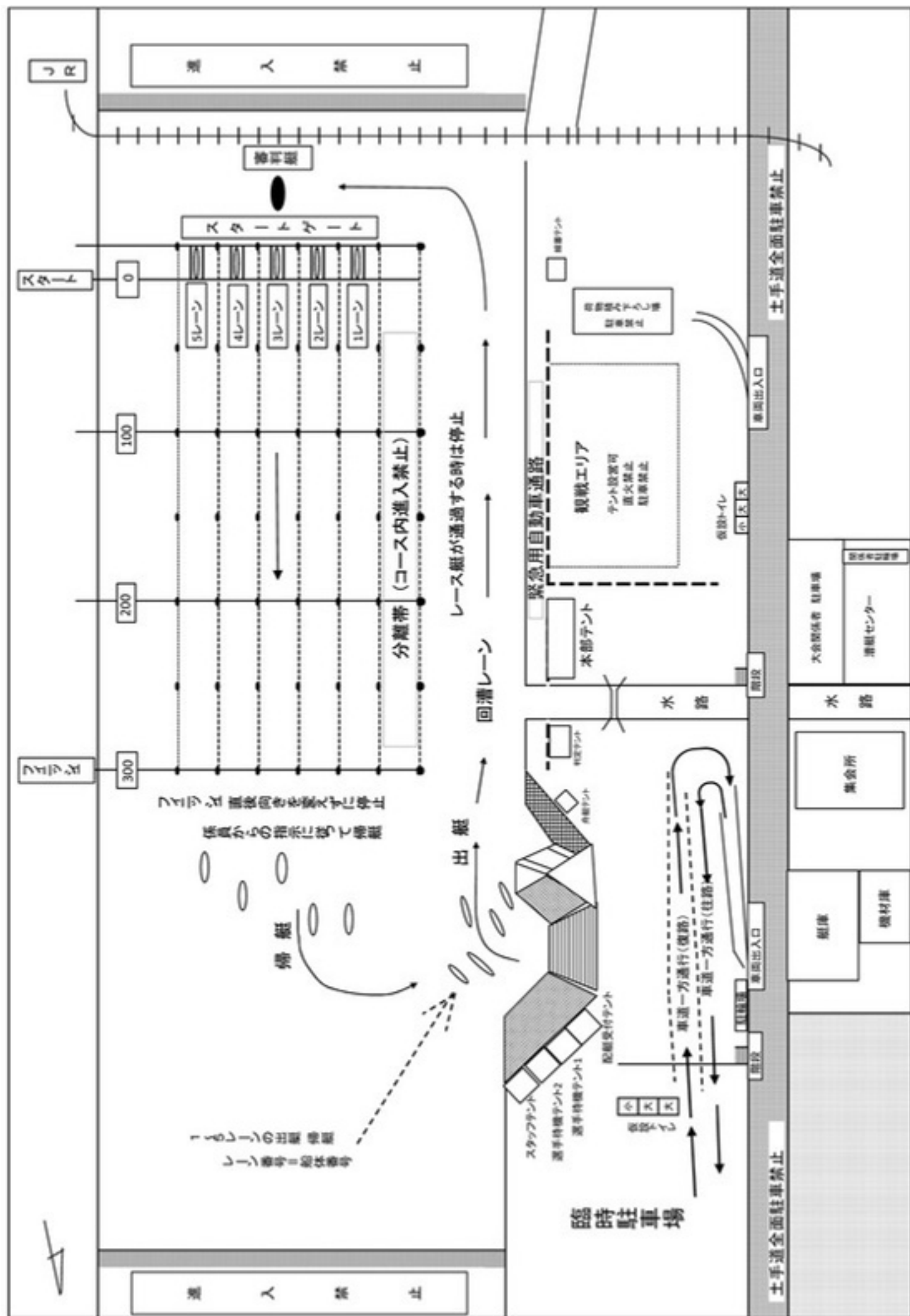
第17条 競漕に関し、クルーから審判に対しての異議申し立ては、当該審判、または審判長が採決します。

※ 異議申し立ては、全艇フィニッシュ後、審判が白旗を掲げ、レースの成立を宣告するまで行うことができます。

第18条 競漕に関するものである限り、審判の決定は最終とし、提訴は認められません。

第19条 競漕委員会及び審判は、本規則に定められていない事項について必要な判定を下す権限と義務を有します。

（令和5年7月改定）



～ ボートのこと ～

「抵抗」

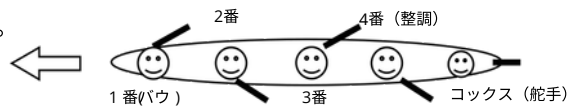
車における「ブレーキ」に相当する行為です。艇速を落としたい場合、コックスが全員に「抵抗」と指示します。その際、クルーはブレード（オール先端部）を垂直に立てて水中に入れます。ただし、艇の速度が速い場合にはブレードを水中に入れる際に、ハンドル（オールの握り部）が漕ぎ手に対し強く戻りすぎることがあるため、そのときにはブレードを水に引っ掛ける程度で減速を試み、十分減速された後にブレードを完全に水に入れるようにしてください。

「バック・ロー」

車における「バック」に相当する行為です。ボートを後退させたい場合、コックスが漕手全員に「バック・ロー」と指示します。その際、クルーは普段の漕ぎとは反対に、フィニッシュ（漕ぎ終えてブレードを水から抜く姿勢）のポイントでブレードを水中に入れ、そのままハンドルを前へ押し出すように漕ぎます。艇の向きを正したい際に、個人または片側サイドだけに指示する場合がありますが、その場合には漕いでない人が水平にしたブレードで水面を押さえておくなど、艇のバランスに配慮するようにしてください。

「クルーの呼び方」

進行方向から数えて1番（バウ）、2番、3番、4番（整調）、コックス（舵手）の順に呼びます。



「ありがとう」

ボートの世界では、「現在行っている行為を止めてください」という意味で用いられます。これは、協力してもらったことに対してのお礼の意味で用いられたものであり、コックスが艇を制御する際に漕ぎ手の協力無しでは行えないことを意味します。コックス（インストラクター）からの「ありがとう」コールには速やかに応えるようにしてください。

「スタートゲートへの入り方」

スタートゲートへは、下の図のように直角にターンをして進入してください。本水域のスタートゲートでは、どんな上手なクルーでも斜めに入るのは困難です。斜めに侵入し、最後で微調整しようと試みても上手くいきませんので、十分な距離を確保してから真っ直ぐゲートに入るようにしてください。

